

『新年度を迎えて』

荻窪中学校学校運営協議会会長 徳田 達介

4月7日、108名の新1年生を迎えて入学式が行われました。荻窪中学校は桃井第三小学校、井荻小学校とて小中一貫教育校の指定を受け取組みを進めています。108名の新1年生の中には2校以外の小学校からの生徒もいます。

入学式では、伊藤校長が辞辞の中で「3つの“みる”」の話をされました。

●自分からやって“みる” ●わからなければ聞いて“みる” ●できなければ努力

をして“みる”です。入学式には、新入生が卒業した小学校の先生も出席され、とてもよい入学式でした。

東京都には617の公立中学校があるそうですが、その数多くの中学校の中から、私たちの地域の荻窪中学校に入学された生徒の皆さんとの「ご縁」を大切に、地域の方々のお力を頂戴しながら、PTAや学校支援本部(おぎすけ)と共に荻窪中学校の応援団として活動をしてまいります。

『強力な荻中支援ネットワーク』

荻窪中学校校長 伊藤 陽一郎

新校長として着任しました伊藤 陽一郎です。鷹南学園三鷹市立第五中学校から転任してまいりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

荻中は、地域運営学校の指定(平成21年10月)を受けて6年目になります。その間、学校運営協議会委員の方々には、積極的に荻中の学校運営に携わっていただき、また、多くの保護者や地域の方々からのお力添えもいただけてきました。その他にも、学校支援本部(通称おぎすけ)や同窓会の皆さま方等が加わり、強力な荻中支援ネットワークを作り上げてくれています。

昨年度から荻中は、杉並区教育委員会の研究推進事業(H26、27年度)を受けて、小中一貫教育の研究に取り組んでいます。この研究には、学校運営協議会も「17hプログラム」の取組みで、研究活動に加わってくれています。これからも地域運営学校として、荻中支援ネットワークの力を最大限に発揮しながら、学校を活性化していきます。

新委員の自己紹介 下嶋 光豊 委員

この3月に済美教育センターでの勤務を終え、6年振りに荻窪中学校に戻ってまいりました。平成22年3月までの8年間、地域の皆様には大変お世話になり、改めて感謝申し上げます。

懐かしくも久しぶりに訪ねた荻窪中学校では、生徒たちの心地よい挨拶とその笑顔に豊かな学校生活を感じ取ることができました。

今後は微力ではありますが、生徒にとっては更なる学校生活の充実と、また生徒を取り巻く教職員・保護者・地域の皆様にとっても誇りの持てる特色ある学校創りができればと考えております。どうぞよろしくをお願いいたします。

活動報告

C S (コミュニティスクール)懇談会 ～PTA・学校支援本部・学校運営協議会～

平成27年7月11日(土) 15:30～17:00 図書館

今年度第一回目の懇談会は、保護者22名、教員6名、学校支援本部メンバー6名、学校運営協議会委員5名が参加。「17時間プログラム」について予め討議したことを発表し合った後、『家族との時間』をテーマに話し合いました。

悩みの種としては、親世代が小中学生だった頃と今の違い、娘と息子の違い、生活時間のずれ違いなどが挙げられ、家族が揃って過ごす穏やかな時間はなかなか日常的には得られない実態が浮かんできました。それでも「カツとなったら深呼吸」「好きな本をリCOMMENDする」などの意見からさまざまな家庭の様子を想像することが出来、イメージを共有できたかと思います。(鹿取 愛弓委員)

<参加者の感想>

■ 当日は各テーブルに先生や学校運営協議会委員、学校支援委員、保護者と色々な立場・世代の人が座り、時間が足りないと思うほど意見を出し合うことができました。同じ思いや考え方に共感しつつ、家庭ごとの時間の過ごし方には「ぜひ取り入れてみたい」と思わせる発見がありました。今回の懇談会は、思春期の中学生をかかえる我々保護者にとって改めて家族の時間について考える良い機会になったと思います。(三田 祐子PTA会長)

■ この懇談会は、保護者、地域、教員などみなさん立場は違いますが、子どもたちへの気持ちを共有することができる時間だと思います。荻中に関わる方々との机を囲んでのコミュニケーションは、それぞれ日々悩みながらも微笑ましい体験などを聞き、リアルな意見を交換できます。

色々あるけれど、みんな自分と同じ様に悩んだり笑ったりしながら子どもとも向き合っているんだという安心感はいずれの糧になり、今回も貴重なひとときとなりました。(学校支援委員 中谷 理彩子さん)

【小中一貫教育の推進における『17時間プログラム』について】

荻窪中学校は、平成26・27年度杉並区教育委員会の『小中一貫教育推進校』の指定を受け、桃井第三小学校・井荻小学校の協力を得ながら9年間をとおした取組みを進めています。

学校運営協議会では、その一環として『17時間プログラム』についての取組みを行っています。『17時間プログラム』とは、1日24時間のうち「学校生活の7時間をひいた17時間で、各家庭のリズムを確立すること」を目的としています。生活のリズムは、健康な生活に欠かせないものであり、学習の効果を高めます。

17時間は大きく①異学年集団との交流、②家族との時間(夜)、③家庭学習、④睡眠、⑤家族との時間(朝)の5つに分けられますが、現在学校運営協議会では「家族との時間」に重点を置き、様々な懇談会やアンケートを通して研究を進めています。(清水 由美子委員、田中 奈那子委員)

退任委員よりご挨拶

善福寺川の流れとともに、その時々を生徒、保護者、教職員、そして地域の皆様と歴史を刻んできた荻中。その流れの中で、私自身の教職人生にとって大きな節目となる5年間を荻窪中学校の経営に取り組みさせていただきましたこと、そして、かけがえのない歳月を過ごさせていただきましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。創立70周年に向けての荻窪中学校のますますのご発展をお祈りいたします。(小松崎 浩元委員)